

第68回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会 会議録			
開催日時	令和7年1月28日(火) 午後5時00分から午後6時30分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟6階 正庁		
出席者	委員	中川幾郎 委員長、田中啓義 副委員長、安田美紗子 副委員長、大窪健之 委員、岡田浩徳 委員、作間泉 委員、清水順子 委員、野口隆身 委員、元島満義 委員、森田一成 委員、山口裕司 委員、吉田隆一 委員【計12人出席】	
	事務局	仲川市長、山口環境部長、上田環境部理事、鈴木環境部次長、山岡総合政策部長、西川クリーンセンター建設推進課長、平野クリーンセンター建設推進課課長補佐 他	
開催形態	公開(傍聴人23人)	担当課	環境部クリーンセンター建設推進課
内容	<ol style="list-style-type: none"> 候補地案について 追加の検討項目について 		
決定又は取り纏め事項	<ol style="list-style-type: none"> 収集運搬コストが1.2倍以上のエリアを除外エリアとした条件について、再度議論する。 抽出された候補地について、今後は総合評価を行う。 総合評価における比較評価項目について、以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> 第30回策定委員会資料の総合評価における資料63-1「候補地の比較評価基準」、資料63-2「総合評価点の集計」の評価項目の重み付けをベースとする。 「災害リスク」の項目を追加する。 災害対策のコストは「施設整備に係る費用」の項目で評価する。 「住民からの意見及び請願」の項目を追加し、「景観への影響」、「文化財への影響」といった観点とする。 「候補地の応募状況」の項目を削除する。 		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
【1 候補地案について】			
・事務局より、候補地案について説明。			

・委員長より、候補地として抽出された4候補地（大和田町、七条町、北之庄町、今市町・池田町）について、意見はないか。

・委員より、今回、抽出された4候補地は、過去の選定においては、どうだったのか。

⇒事務局より、過去の一次選定においても、抽出されている。

・委員より、七条町について、住民から出された請願が議会で採択されていることから候補地として除外すべきと考える。

・委員より、洪水、浸水の対策をするとコストが掛かるため、洪水浸水想定区域を除外するという条件を加えるべきである。また、公平性を保つためにも近接地にクリーンセンターが立地する地域は除外するべき。上記のことから、七条町は候補地とするべきでない。

・委員より、災害について、対策コストが掛かるのは洪水、浸水のみではない。砂防や土砂災害等も含めて、災害全般のリスクやコストを総合的に検討することが公平だと考える。

・委員より、候補地については、第67回策定委員会において、決定された基準に従って絞り込まれた結果である。考慮すべき事項は次の段階で評価すればよいのではないか。

・委員より、第66回、第67回策定委員会において、決定した条件を基に機械的に作業した結果であるため、異議はない。候補地が4つまで絞り込まれたことから、これ以上新たな基準を設ける必要はないと考える。

・委員より、第67回策定委員会において、現時点で七条地区は除外しないと採択のうえ決定された。今回、抽出された結果に賛成であり、4候補地で次の議論を進めていくことが妥当である。

⇒委員長より、候補地選定の条件は前回までの議論で既に決まっている。今日の審議は、抽出された候補地をどのように評価していくかという点を詰めていく段階であると考えている。

・委員より、候補地が絞られすぎている。収集運搬コストについて、現工場比で1.2倍以上のエリアを除外するとしたが、詰めた議論をしていない。過去の策定委員会において、選定された25候補地の中で1.2倍程度の場所があるのであれば、1.2倍と断定せずに幅を持たせるべきである。

・委員より、何倍のエリアを除外とするかは、合理的な説明が必要である。

⇒委員長より、何倍のエリアを除外とするかは再度、議論する。

【2 追加の検討項目について】

- ・事務局より、追加の検討項目について説明。
- ・委員より、過去の選定においては、9候補地に絞り込まれた時点で総合評価を行った。現状、4候補地程度に絞られていることから、総合評価に入ってはどうか。総合評価をするにあたっては、第30回策定委員会の資料63-1「候補地の比較評価基準」に記載のある比較評価項目及び資料63-2「総合評価点の集計」に記載のある評価項目の重み付けを参考にし、てはいかがか。過去の策定委員会での手法を受け継ぎ、必要な項目を追加や削除すればよいと考える。
- ・複数委員より、上記に賛成である。

⇒委員長より、抽出された候補地について、過去の策定委員会での審議内容を十分に尊重しつつ、変更が必要な観点について、追加、削除し、総合評価による比較評価を行うこととする。

- ・委員より、災害リスクについて、洪水だけでなく、砂防、土砂災害、活断層の位置及び液状化など該当する災害リスクの数に合わせて、1点ずつ減点とする形はいかがか。また、災害リスクは総合的な観点で評価する必要がある、各災害リスクに係る対策コストについては、施設整備に係る費用において、評価すべきと考える。
- ・委員より、災害リスクについて、住民にとって重要な観点であるため、比較評価項目に入れるべき。評価すべき災害リスクは、上記に賛成である。
- ・委員より、全国各地で様々な災害が起きている。奈良市において、想定される災害に対して対策を練るうえでも、災害リスクは比較評価項目とすべき。

⇒委員長より、災害リスクについて、比較評価項目に入れることとする。災害対策に係るコストについて、施設整備にかかる費用の項目に含むとする。

- ・委員より、災害リスクについて、住民が心配している項目である道路交通への影響と同様の10点とするのはどうか。
- ・委員より、重み付けについて、賛成である。

- ・委員より、請願について、請願の内容を比較評価項目に反映することでよいか。
- ・委員より、請願において、災害リスクについて記載されている。請願の有無を評価してしまうと、比較評価項目に追加することになった災害リスクの項目と重複して、評価することに

なる。そのため、請願の内容を比較評価項目に反映することに賛成である。すべての候補地に対して、評価できるため、客観的かつ公平であると考え。

⇒委員長より、請願の有無ではなく、請願の中身を斟酌し、比較評価項目に反映したいと考える。今後、新たに候補地とされた地区より、別に請願が出される可能性も考えられるといった意見もあることから、請願の有無自体を評価しない。

・委員より、請願の法的な位置付けについて教えてほしい。

⇒委員長より、請願は憲法によって、国民に認められた権利の一つであり、国民が国又は地方公共団体に何らかの要望を述べる権利であり、請願の相手方は職務を遂行する上でそれを参考とし慎重に検討すべきものであるが、法的に拘束されるものではない。策定委員会の審議において、請願については請願内容や請願が採択された際の理由などを参考に慎重に取扱い、最終的な結論については合議により客観的に決定していきたいと考えている。

・委員より、七条町について、大和郡山市のクリーンセンターがある精神的な配慮は、点数化できるのか。

・委員より、近接地にクリーンセンターが立地しているかを比較評価項目に入れるべきである。

⇒委員長より、クリーンセンターが近接地に立地していることについては、景観の項目で評価することとしてよいか。

⇒委員より、特段の異議はでなかった。

・委員より、文化財について、評価してはどうか。市民からの理解が得られやすいと考える。

・委員より、請願などを考慮するために、住民からの意見及び請願という項目を追加してはどうか。この項目において、重点眺望景観の構成エリアに該当するか、埋蔵文化財包蔵地を避けて建設できるかを評価したらよいと考える。災害リスクの項目と同様に減点方式とし、重点眺望景観の構成エリアに該当すれば、マイナス1点。埋蔵文化財包蔵地を避けながら、施設建設ができない場合はマイナス1点とすることはどうか。重み付けについては、施設配置の制約と同様の5点が妥当であると考え。

・委員より、請願はないがしろにできないため、住民からの意見及び請願という項目を追加することに賛成である。重み付けについても、概ね賛成である。

・委員より、請願について、公害調停、健康被害、交通渋滞への懸念も記載されている。公害調停については、除外条件を設けているため、評価する必要はない。健康被害について、近

隣他都市においても、健康被害はないと聞いているため、評価する必要はない。交通渋滞について、既に道路交通の影響として過去の比較評価項目にあるため、その項目で評価が可能であると考え。

⇒委員長より、住民からの意見及び請願について、比較評価項目に追加し、重点眺望景観の構成エリアに該当すれば、マイナス1点。埋蔵文化財包蔵地を避けながら、施設建設ができない場合はマイナス1点とする。重み付けについては、5点とする。

- ・候補地の応募状況という項目について、反対をするのは地権者ではなく、地域住民であることから、実情に合わないため、項目から削除してはどうか。

- ・委員より、削除するべきと考える。

⇒委員長より、候補地の応募状況を項目から削除することとする。

- ・委員長より、事務局に総合評価基準案を作成するよう指示。

以上

資 料	1. 次第 2. 会場配席図 3. 委員名簿 4. 候補地案について 5. 追加の検討項目について
-----	---